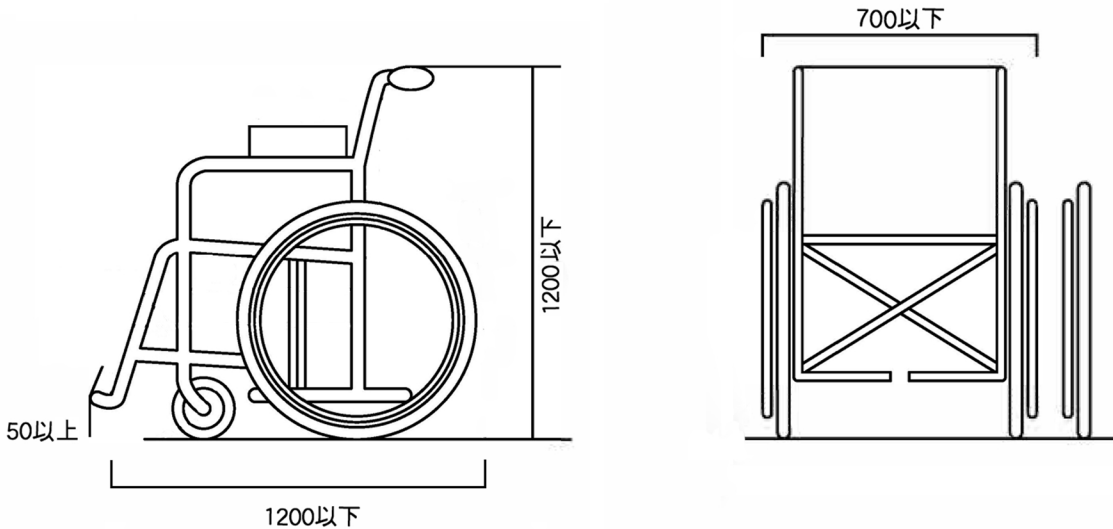


(1) 車いすの寸法

①手動車いす

車いすは、JIS規格によって寸法や性能などが標準化されています。自走用、介助用の区別のほか、使用者によって、スポーツ用、片マヒ用、室内用などがあります。

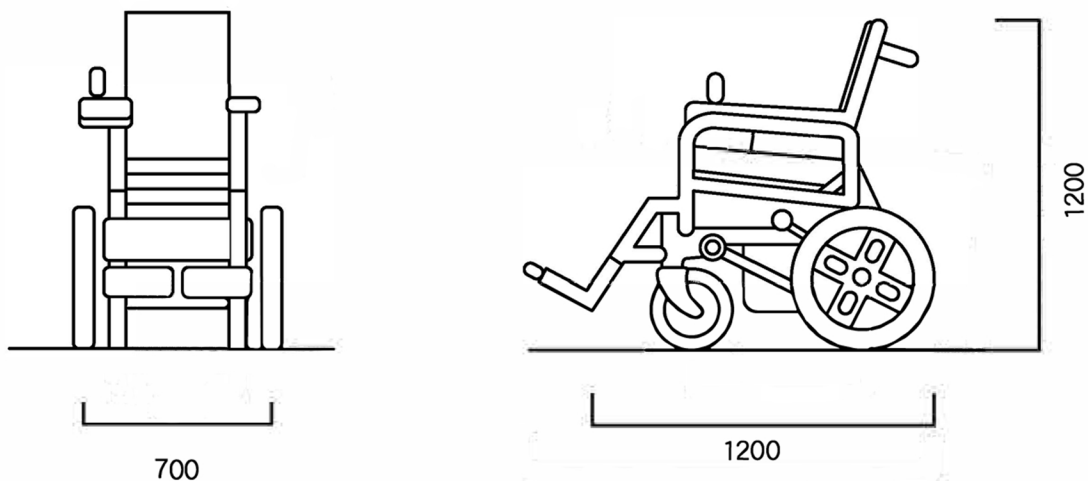
〔JIS規格〕



②電動車いす

〔JIS規格〕

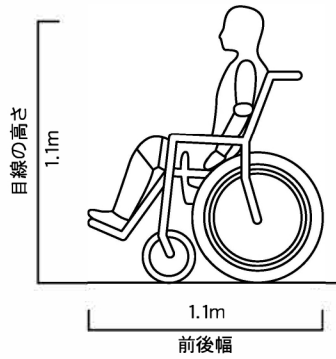
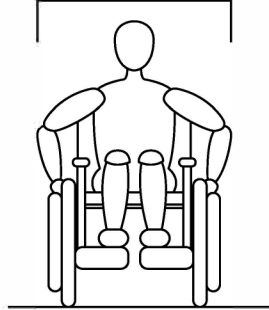
(登坂力10%、(17.6%、約1 / 5.7)以上、段差の乗り越えは、4cm以上(屋外用)が可能である。)



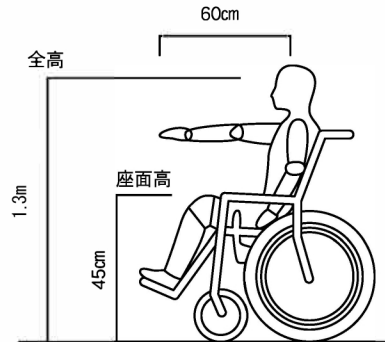
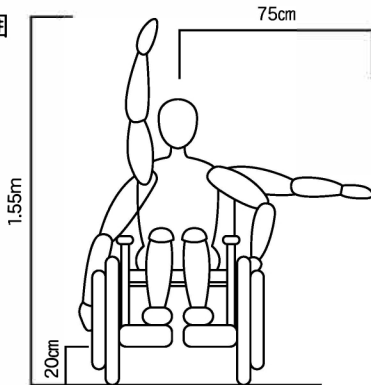
## (2) 車いす使用者の基本動作作業

### ① 人間工学的寸法

両ひじは車いすの幅により  
10cm程度外側に出る

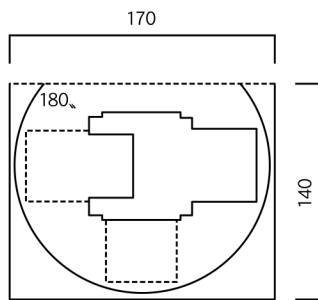


### ② 手の届く範囲

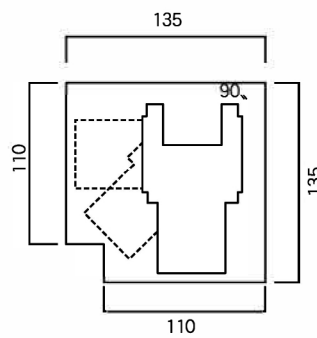


### 手動車いすの最小限動作空間

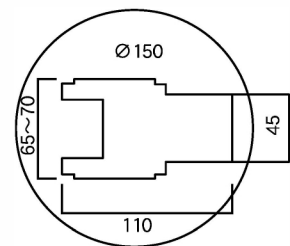
180°回転 (車輪中央を中心)



90°回転 (車輪中央を中心)

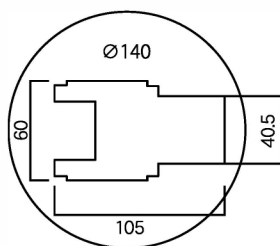


最小の回転円

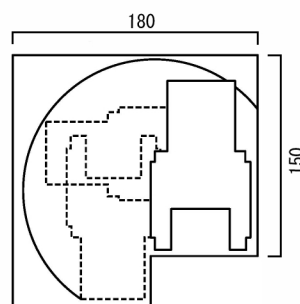


### 電動車いすの最小限動作空間

360°回転 (車輪中央を中心)

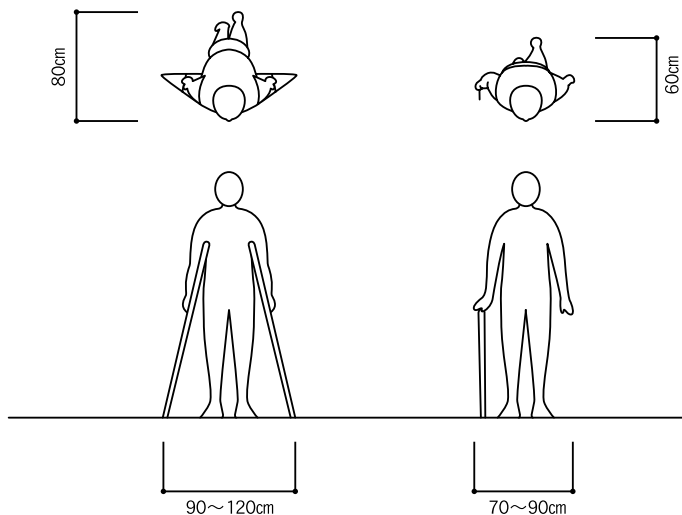


180°回転 (車輪中央を中心)



### (3) 杖使用者の基本動作作業

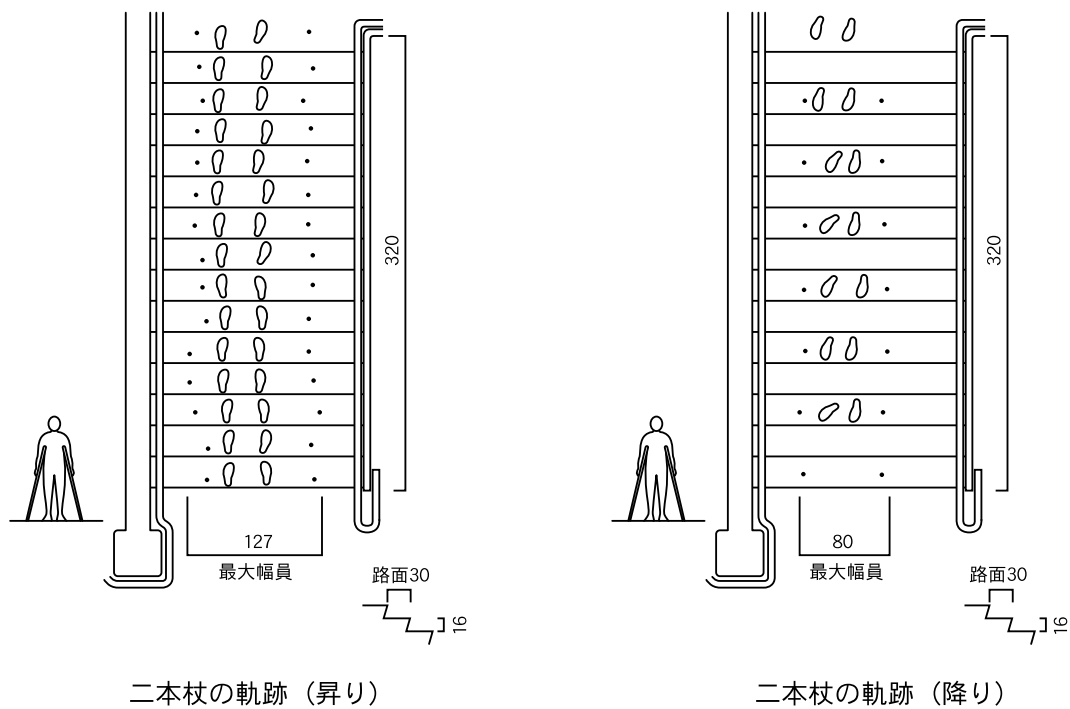
#### ① 人間工学的寸法



#### ② 計画上必要な動作空間

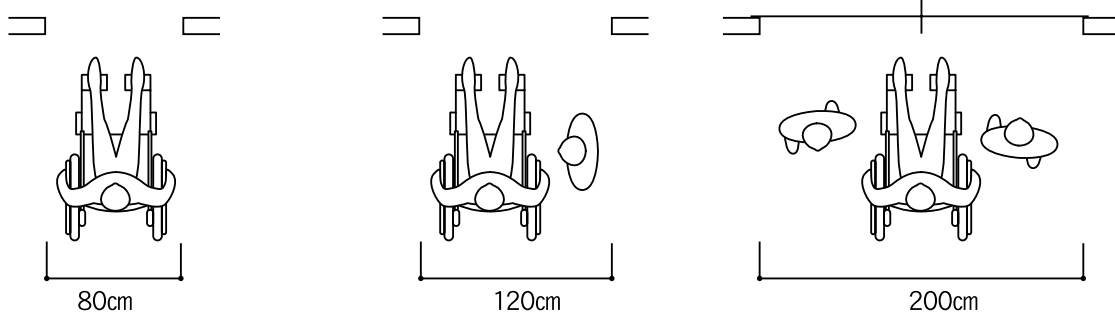
杖使用者にとって最小限必要な動作空間は、以下の通りである。

二本杖使用者の階段の昇降



## 各部の設計寸法の考え方

### 出入口の幅

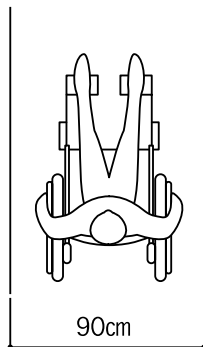


80cm：車いすで通過できる寸法  
90cm：車いすで通過しやすい寸法

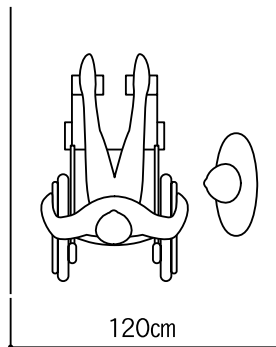
・人が横向きになれば  
車いすとすれ違える寸法

・人と車いすがすれ違える寸法

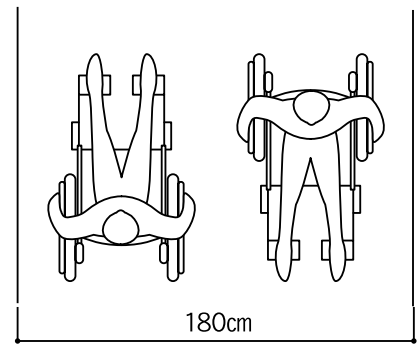
### 廊下の幅



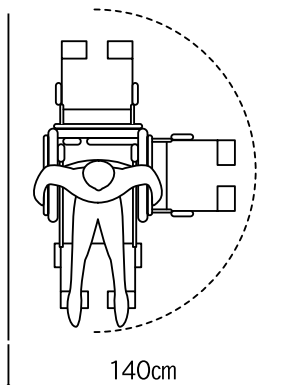
90cm：車いすで  
通過できる寸法



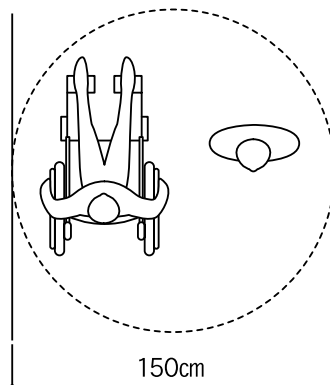
車いすで通行しやすい寸法  
人が横向きになれば車いす  
とすれ違える寸法



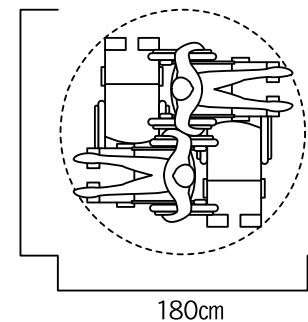
車いすどうしが行き違いやすい寸法



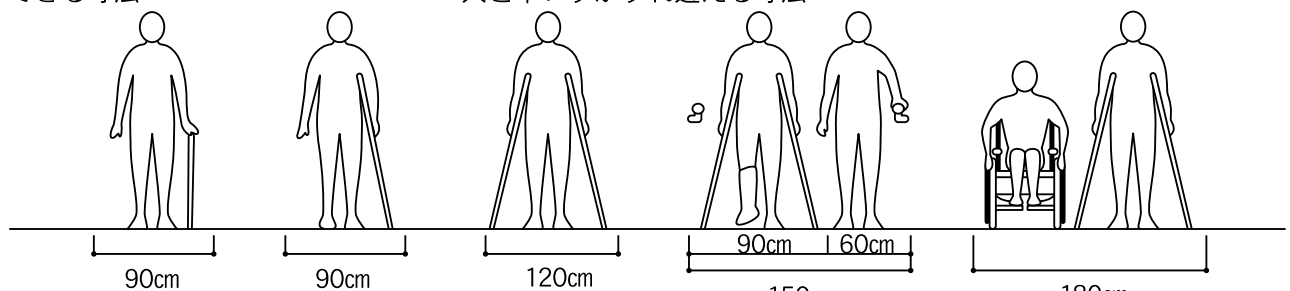
車いすが回転（180度方向転換）  
できる寸法



車いすが回転できる寸法  
人と車いすがすれ違える寸法



車いすが回転しやすい寸法



・杖使用者が通行  
しやすい寸法

・片松葉杖使用者  
が通行できる寸法

・松葉杖使用者  
が通行しやすい  
寸法

・松葉杖使用者と歩行者  
がすれ違える寸法

・車いす使用者と松葉杖  
使用者がすれ違える寸法